




令和 3 年 度

事業計画書

社会福祉法人 洛南福社会

総施設長	施設長	施設長
		

令和3年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福社会
管理職

【令和3年度 方針】

法人理念を念頭におき、全職員が笑顔で働ける職場環境をつくる。また全職員がご利用者の笑顔を引き出せるために思考していく。

自らが入所を甘受できると思える施設のイメージを共有する。

新型コロナウイルスによる影響を視野にいれつつ、事業全体の経営の安定を目指す。

【重点目標】

1. 人材の確保、育成

- ・全職員がポジティブかつ先進的な仕事ができるように役職者の指導の管理を行う。
- ・コストパフォーマンスの高い人材確保の形を思考し、新たな入職者獲得に繋げる。
- ・研修などで得た知識を現場のサービスに活かせるよう指導体制をつくる。

2. ご利用者の生活の質の向上

- ・ご利用者を知ることで、ご利用者の楽しみと喜びについて思考する。
- ・認知症ケアについて、資格取得に向けての計画を立てる。
- ・職員一人ひとりの情報収集能力の向上に取り組む。
- ・感染予防を前提にした新たなイベントを企画する。

3. 地域の安心の拠点となる活動

- ・地元地域のなくてはならない社会資源として、与えられたサービス枠を可能な限り活用し、地元地域に還元していく。
- ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症に対する知識を身に付け、感染予防に努める。

4. 経営の安定

- ・稼働目標達成を念頭におき、無駄な経費を節減し、全事業の黒字化にする。
- ・介護報酬改定における運営基準を正しく理解する。
- ・令和3年度の新規事業として、認知症対応型通所介護をスムーズに開設する。

令和 3 年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
特別養護老人ホーム ヴィラ向島

【令和 3 年度 方針】

「こんなことも施設で出来る」を念頭に置き、ご利用者、ご家族と協力しながら、楽しみや喜びであふれる施設づくりを目指す。

【重点目標】

1、愛あるサービスの提供

- ・専門的な視点から「その人らしさ」を追求する為、ご利用者の生活背景を知る。
- ・ご利用者の今出来る事、やりたい事を聞き取り、支援の中に組み込む。
- ・サービス担当者会議での家族参加（TV 電話）の充実を図る。（家族参加 3 割増を目指す）

2、食生活の充実

- ・利用者の食べたい物を聞き取りの更新及び実施。

3、感染対策

- ・感染に対する知識を身に付ける為、特養ミーティングで勉強会を実施。
- ・感染拡大を防ぐ為に初期対応の訓練を実施する。

4、稼働の安定

- ・退所後、新規入所は 10 日以内。

令和3年度 事業計画

社会法人 洛南福社会
総務部

【令和3年度 方針】

介護人材の確保において、法人理念を念頭に置き、理念を享受できる職員の獲得を目指す。実習生から職員採用へ繋がるように実習担当者へ働きかける。

開設24年目を迎え、使用頻度が高く、修繕が重なる設備について、収支バランスを考慮しながら入替を検討する。

今秋開設予定の新規事業において、指定許可申請書類等の準備を、担当部署長と連携を図り、円滑な開設に努める。

安定的な経営を確保する為に、毎月の介護報酬収入・利用者負担金収入・人件費・事業費・事務費の収支を明らかし、事業の健全を確保する。

【重点目標】

1. 人材確保

- ・実習生からの採用に繋がるように、実習担当者・所属長との連携を密にする。
- ・法人の求人サイトを活用し、職員の確保に努める。
- ・就職フェアへの参加。
- ・就職活動の動向を踏まえ、採用活動を展開する。
- ・技能実習生2期生の受入を行なう。

2. 施設整備

- ・入居者の生活が快適なものとなるように、改修が必要な設備について検討を行なう。
- ・認知症対応型通所介護の開設にあたり、行政等への手続を滞りなく行なう。

3. 会計分析

- ・収入（介護報酬収入・利用者負担収入・補助金収入）と支出（人件費・事業費・事務費）のバランスを確認し、各事業の経営状況の安定に努める。
- ・介護報酬改定に伴い、各会計の増減単位を考慮し、今後取得可能な加算について精査する。
- ・予算を達成する為に、半期決算を行なう。

令和3年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
ヴィラ向島 ショートステイ

【令和3年度 方針】

特養との一体の流れの中で、ご利用者の在宅生活に配慮しながら、本人様・家族様が安心して利用出来るサービスの提供を行う。

利用することで「また来たいな」と思ってもらえる為に、今まで行っていなかった新たな取り組みに挑戦する。(コロナの影響は十分に考慮する。)

【重点目標】

1. 稼働率の安定

- ・特養の空床を活用する為に柔軟に利用していただけるご利用者を獲得。
- ・日程変更やキャンセルに対応する為、追加利用を希望されているご利用者への空き情報の発信、キャンセル待ちに対してベッドの空き情報の提供を行う。

2. サービスの質の向上

ご利用者、ご家族より普段の生活の様子や自宅の環境に関する情報を集め、現場職員へ直接発信を行い、他職種とも相談を行いながら本人様にとって過ごしやすい環境を試行する。

3. 行事の充実

- ・ご利用者に楽しく利用していただけるよう、季節を感じていただける行事の立案・実行を行う。(コロナの影響も考慮し、映像等を活用)
- ・ご家族に行事の様子を写真や動画を利用し、見ていただく。

4. 食事の多様性

コロナ禍でも食事を楽しんでいただけるよう、出前企画や面前調理を企画する。

令和3年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
ヴィラ向島デイサービスセンター

【令和3年度 方針】

ご利用者の「今できること、昔やっていたこと」を情報収集し五感（視覚、聴覚、味覚、触覚、嗅覚）に訴えるサービスを充実させる。ご利用者の満足度を職員の満足につなげる為、職員の自由な発想・アイデアを実現化し、さらなるサービスの質の向上や、ご利用者に満足いただけるサービスを提供する。

新型コロナウイルスの感染対策に努め、ご利用者、職員共に安心して過ごすことができる「居場所」「職場」を目指す。

【重点目標】

1. 人材確保及び人材育成

- ①積極的な実習生の受け入れを行い大学、養成校との関係強化を図り実習内容の充実と介護の魅力、法人の魅力を伝える。
- ②基本的な福祉・介護の知識を学んだ実習生をボランティア、アルバイトとして受け入れ、専門職としての意識の高い人材確保につなげる。
- ③実習担当者の知識技術を向上させるため研修の参加や資格取得を推奨する。

2. ご利用者の満足度の向上

- ①ご利用者、ご家族の声を聞きニーズの実現化を図り、利用しやすい事業所を目指す。
- ②ご利用者の介護度に関わらず一人一人の所持機能を活かすことができるプログラム、イベント、行事を行う。
- ③新型コロナウイルスの感染対策を念頭に「新型コロナウイルス禍だからできない」ではなく「新型コロナウイルス禍でもできること」「新型コロナウイルス禍だからこそできること」を実現させる。

3. 事業運営の安定化

- ①介護報酬改定における新たな加算や加算要件を把握し収入確保につなげる。
- ②在宅の重度介護者の受け入れが可能である事業所の規模、ハード面を活かし幅広い要介護者の受け入れを行い稼働率の向上につなげる。

令和3年度 事業計画

社会福祉法人洛南福祉会
ヴィラ向島居宅介護支援事業所

【方針】

ご利用者に対し、介護保険法の趣旨と法人理念に則り、ご利用者が可能な限り居宅において笑顔で自立した生活を営むことができるように支援をしていく。

新型コロナウイルスをはじめとする感染症や災害がおきても、ご利用者が住み慣れた地域で生活できるように地域の住民や社会資源と日頃から連携を図る。

【重点目標】

1. 経営の安定化

- ・新たな運営基準を理解し居宅介護支援運営基準を順守する。
- ・介護支援専門員1名あたり月35件のケアプラン作成を実施する。
- ・特定事業所加算Ⅱの算定を継続する。

2. 人材育成と専門性の向上

- ・当事業所介護支援専門員に対し、個別具体的な研修プログラムを策定し、情報収集能力をはじめ、人権の擁護、虐待の防止、感染予防等の知識を高めマネジメントの質の向上を図る。

3. 地域包括ケアの推進

- ・地域の活動に積極的に参加する。
- ・地域包括支援センターや地域住民、サービス事業所等との連携を図る。

4. 感染症や災害が発生した時の事業継続

- ・日頃から地域の社会資源と連携を図る。
- ・適切な知識を修得し、事前に対策を想定し訓練を実施する。

5. 働きやすい職場環境づくり

- ・日常的に職員同士で前向きな意見交換ができる雰囲気づくりに努める。
- ・事業所内のハラスメント防止に努める。

令和3年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福社会
ヘルパーステーション ヴィラ向島
ヘルパーステーション ヴィラ観月橋

【令和3年度 方針】

訪問介護は在宅生活を継続するうえで、重要な役割を持っているため、若い人材にも興味を持ってもらえるようにSNS等での発信を行い魅力をアピールし人材確保に努めていく。

ヘルパーの増員を見込み、各居宅支援事業所等に営業を行いご利用者を確保していく。

【重点目標】

① 人材の確保、育成

- ・多様な働き方に対応することで、長期的に働ける人材を確保する。
- ・若い人材を確保するため、他部署と連携を図り、積極的に実習生を受け入れる。

② 職員の資質向上

- ・月1回のヘルパー会議にて、各事業所で個別検討を行うことで、職員ひとり一人がアセスメント能力を身に付ける。
- ・感染症の研修を行うことで、正しい予防の知識を身に付け、感染予防に努める。
- ・全ての職員が介護に関して知る努力、身に付ける努力を行なうため、実践を含めた研修を行っていく。

③ 安定した事業運営

- ・各居宅介護支援事業所等と密に連携を図り、入院者やキャンセルでの空き枠を埋めていくことで、稼働の安定を図る。
- ・各居宅介護支援事業所へ定期的に空き情報を発信し、新規獲得を行う。
- ・緊急時や多様なニーズに対応できるように、訪問スケジュールの効率化を図る。

令和3年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
ケアハウス サウスヴィレッジ向島

【令和3年度 方針】

洛南福祉会の「共に生き、笑顔で支えあう暮らしづくり」という法人理念に基づき活動する。

コロナ禍でも生き生きと生活ができるよう、『入居者自身ができる事を見つけ実行できる環境づくり』に努める。

【重点目標】

1. 入居者の「自主活動」を促す取り組み
 - ・入居者自身ができる事に喜びや楽しみを見つけられるように職員が関わりを持ち、きっかけを作る。
2. 入居者確保の為の広報活動の実施
 - ・ホームページやSNS等を活用し施設の情報を発信する。
 - ・少しでも自立度の高い入居者を確保する為、施設検索サイトのみに頼らず地域包括への営業や地域の在宅へのポスティングを継続する。
3. 感染症予防の取り組み
 - ・職員が促す事によって、新型コロナを初めとする感染症予防対策を入居者自らが意識的にできるようにする。
4. 災害等に対する取り組み
 - ・入居者と共に実践的な防災・災害訓練を実施する。
 - ・災害マニュアルを整備する。
5. 職員研修
 - ・自らの資質向上と常に入居者の立場で支援が出来るよう、法人研修に参加しより良いサービスの提供に努める。

令和3年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
元源 深草

【 令和3年度 方針 】

法人理念を意識し、短時間・入浴特化型の特性を活かし、心地よくつろぎの空間を提供する。

ケアプランセンターあかつきと協働し、地域住民・関係事業所との連携強化に努めるとともに、ご利用者・ご家族、地域のニーズに合わせた通所サービスを提供し、安定的な事業運営を行う。

【 重点目標 】

1. ご利用者にとっての「楽しみ」を追求する

- ① ご利用者のニーズを聞きながら、お楽しみ企画を計画・検討し実践する。
また、日々ご利用者の笑顔が生まれるような関わりを実践する。
- ② ご利用者に安心してご利用頂けるよう、日々の関わりから情報収集及びアセスメント力の向上を図る。

2. 地域連携の維持・拡大

- ① 地域ケア会議・運営推進会議に参加するとともに SNS を活用し、事業所の活動をアピールする事で、地域に開かれたデイサービスを目指す。
- ② 地域住民・学校・保育園との交流を広げる。

3. 稼働率 90%以上を目標に、ご利用者獲得と運営の安定を目指す

- ① 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所などの関係機関との連携を積極的に図る。
- ② 算定可能な加算について理解し、取得に努める。

4. 職員の資質向上を目指す

- ① 施設内外の研修や部署内での勉強会に積極的に参加する。
- ② 感染症に対する知識を身に付け、感染予防に努める。

年間行事計画

9月	敬老会
12月	クリスマス会
1月	正月イベント
2月	バレンタインデー
3月	ホワイトデー
※毎月のお楽しみ企画 ・変わり湯の日（1日・10日・26日） ※各月 ・花楽の会（5月・7月・9月・11月・1月・3月）	

研修・勉強会（案）

法令研修	・褥瘡予防について
	・事故予防について（2回）
	・高齢者虐待について
	・身体拘束について（2回）
感染対策研修	・手洗い
	・食中毒
	・インフルエンザ・レジオネラ
	・ノロウィルス
	・流行している感染症
階層別研修	・介護技術
	・認知症
法人研修	・AED研修
	・プリセプター研修

令和3年度 事業計画

社会福祉法人洛南福祉会
ケアプランセンターあかつき

【方針】

ご利用者に対し、介護保険法の趣旨と法人理念に則り、ご利用者が可能な限り居宅において笑顔で自立した生活を営むことができるように支援をしていく。

開設後2年6ヶ月が経過し、地域住民、関係機関との連携が充実しつつあり、更なる関係強化に努め、新型コロナウイルスをはじめとする感染症や災害がおきても、ご利用者が住み慣れた地域で生活できるように日頃から連携を図る。

【重点目標】

1. 経営の安定化

- ・新たな運営基準を理解し居宅介護支援運営基準を順守する。
- ・介護支援専門員1名あたり月35件のケアプラン作成を実施する。
- ・特定事業所加算Ⅲの算定を開始する。

2. 人材育成と専門性の向上

- ・当事業所介護支援専門員に対し、個別具体的な研修プログラムを策定し、情報収集能力をはじめ、人権の擁護、虐待の防止、感染予防等の知識を高めマネジメントの質の向上を図る。
- ・第三者評価を受診し、専門性の向上につなげる。

3. 地域包括ケアの推進

- ・藤城学区の地域活動に積極的に参加する。
- ・同一敷地内のデイサービスと協力しながら、地域包括支援センターや地域住民、サービス事業所等との連携を図る。

4. 感染症や災害が発生した時の事業継続

- ・活動地域毎の特性を理解し社会資源の情報収集を行う。
- ・適切な知識を修得し、事前に対策を想定し訓練を実施する。

5. 働きやすい職場環境づくり

- ・日常的に職員同士で前向きな意見交換ができる雰囲気づくりに努める。
- ・事業所内のハラスメント防止に努める。

令和3年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
特別養護老人ホーム レーベン横大路

【 令和3年度 方針 】

法人理念を具現化するために、ご入居者の個性を尊重し、その人の能力や生活背景、および健康状態に視点を向けることで安心できる生活環境を作り、その人らしい生活が送れるように関わりを持つ。

地域密着型特別養護老人ホームとして、地域に存在する社会資源との共働の機会を増やし、地域福祉発展への貢献度を高める。

【 重点目標 】

1. 稼働率の安定化

- ① 入居待機者の情報収集を計画的に行うことで、退居後10日以内の入居を目指す。
- ② 年間平均稼働率96%以上を目指す。
- ③ 介護報酬改定による運営基準・加算の変更を理解し、算定に向けて計画を作成、実行する。

2. サービスの質の向上

- ① ご入居者、ご家族と共に、日常生活の中にある「喜び」とは何かを考え、実現していくことでご入居者・ご家族の満足度を高める。
- ② 健康状態や生活背景にあるご入居者の「やりたいこと」「できること」に焦点を当て、日頃の様子や専門職としての情報をユニット会議で共有し、安定したケアが行えるように努める。
- ③ 感染症予防を行い、季節に合わせたイベントを実施する。

3. 人材の確保、育成、定着

- ① 実習受け入れを通して、人材の確保、実習指導者のスキルアップに努める。
- ② 新人教育マニュアルを活用しながら、新人職員の個々人に合わせた育成計画のシステムを構築し、指導育成のスキルアップを目指す。
- ③ 職員が安心して働き続けられる職場作りに努め、法人介護ランク制度や外部研修受講を通じて職員の資質向上を図る。

4. 地域との連携

- ① 運営推進会議、横大路保育園や横大路児童館との関わりを継続させつつ、地域社会の一員として地域福祉の増進に寄与する。

令和3年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
レーベン横大路ショートステイ

【 令和3年度 方針 】

法人理念を具現化するために、ご利用者の個性を尊重し、その人の能力や生活背景、および健康状態に視点を向けることで、生活の場所が変わっても安心して生活できる環境を作り、在宅生活が継続できるような関わりをもつ。

生活の場所の一つとして、ご利用者が自ら「レーベン横大路に行きたい」と思えるショートステイを目指す。

【 重点目標 】

1. 稼働率の安定化

- ① 介護報酬改定により運営基準を理解し、実施に向けて計画を作成、実行する。
- ② 居宅介護支援事業所との連携を図りご利用者の情報を把握すると共に、空室状況の情報提供を行い、新規、定期でのご利用者の獲得をする。
- ③ 年間平均稼働率94%以上を目指す。

2. サービスの質の向上

- ① ご利用者およびご家族が求めているサービスについて情報収集し、ユニット会議等にて対応を検討し、フィードバックすることで信頼度の向上に努める。
- ② 自宅・施設での様子をご利用者・ご家族と情報共有を行い、生活の場所が変わっても安心して過ごすことができるよう環境を整え、利用に対しての満足度向上に努める。
- ③ ご利用者同士の交流を促進し、ショートステイ利用中ならではの楽しみを提供する。
- ④ 利用前にご利用者、同居家族の健康状態の確認を行い、感染症予防に努める。

3. 人材の確保、育成、定着

- ① 認知症や中重度の介護を必要とされているご利用者に対応ができるよう、法人介護ランク制度や外部研修を活用し、介護技術や知識を身につける。
- ② 職員が安心して働き続けられる職場環境について、意見を出し合えるような仕組みを作り、改善・継続に向けて働きかけを行う。

令和3年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
レーベン横大路 デイサービスセンター

【令和3年度 方針】

ご利用者に日々「レーベン横大路に行きたい、利用が楽しみ」と思ってもらえるような通所介護を目指す。

ご利用者にとって居心地のよい「居場所」、ご家族や関係事業所にとって安心と信頼できるサービス提供に努める。

【重点目標】

1. ご利用者の「声」を大切に

- ① ご利用者の「声」を大切にし、ご利用者がワクワクしていただけるような行事やイベントの計画・実施に努める。
- ② 認知症や多様なケースが対応できるよう、研修への参加や法人介護ランク制度を活用し介護技術や知識を身につけ実践に活かす。

2. 地域連携の維持・拡大

- ① 地域の活動に参加し、事業所のアピールをするとともに、地域に開かれたデイサービスを目指す。
- ② 事業所から地域へ働きかけ、こども園や学校との交流を行う。

3. 定員枠上限までを目標に利用者獲得と運営の安定

- ① 関係事業所との情報共有・連携を図り、定員枠上限までの登録維持に努める。
- ② 登録数の維持と年間平均93%以上を目標に稼働の安定を目指す。
- ③ 算定可能な加算について理解し取得に努める。

4. 人材定着及び人材確保

- ① 職員が意見交換しやすい雰囲気づくりや機会を持ち、働き続けられる職場づくりに努める。
- ② 実習の受け入れ・養成校との関係強化を図り、実習やアルバイトを通じ法人の人材確保につなげる。
- ③ 感染症に対する知識を身につけ、感染予防・拡大予防に努める。

年間行事計画

9月	敬老会
12月	クリスマス会
1月	正月イベント
2月	バレンタインデー
3月	ホワイトデー
<p>※毎月のお楽しみ企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変わり湯の日 (1日・10日・26日) <p>※各月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花楽の会 (5月・7月・9月・11月・1月・3月) 	

研修・勉強会 (案)

法令研修	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡予防について ・事故予防について (2回) ・高齢者虐待について ・身体拘束について (2回)
感染対策研修	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い ・食中毒 ・インフルエンザ ・ノロウィルス・レジオネラ ・流行している感染症
部署勉強会	<ul style="list-style-type: none"> ・介護技術 ・認知症について

令和3年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福社会
元 源

【 令和3年度 方針 】

- ・法人理念を意識し、ご利用者・家族、職員の「結びつき」を大切にしたサービスを提供する。短時間の入浴特化型ではあるが、入浴だけにとらわれず、心地よくつろぎの空間を提供する。ご利用者が住み慣れた地域で安心した暮らしの継続のために、他のサービス事業者・地域の関係者との連携に努める。

【 重点目標 】

1. ご利用者・ご家族との「絆」「信頼関係」を大切にする
 - ① 対話を大切にし、ニーズを迅速に対応することで信頼関係を築く。
2. 地域連携の維持・拡大
 - ① 運営推進会議等で事業所の活動をアピールするとともに、地域に開かれたデイサービスを目指す。
 - ② 地域への働きかけや、学校、こども園との交流を広げる。
3. 事業運営の安定
 - ① 法人内外の居宅介護支援事業所等の関係施設と連携を深め、毎月の営業活動に力を入れ、稼働率の向上に努める。
 - ② 定員枠上限までの登録維持と稼働93%以上を目指す。
 - ③ 算定可能な加算について理解し、取得に努める。
3. 職員の資質向上
 - ① 施設内外の研修や部署内での勉強会の計画・実施。
介護技術面の底上げの為に、全員が法人内介護ランク制度の基礎・Cランク合格を目指し、スキルアップとともに、基礎からより高い介護技術を身につける。
 - ② 感染症等に対する知識を身に付け、感染予防に努める。

行事・イベント計画

7月	七夕イベント
9月	敬老のお祝い
12月	クリスマスイベント

他、企画として

花楽の会・和菓子の日・パン販売・皆勤賞の実施・季節風呂・変わり湯など

研修・勉強会(案)

法令研修	・褥瘡予防について
	・事故予防について(2回)
	・高齢者虐待について
	・身体拘束について(2回)
感染対策研修	・手洗い
	・食中毒
	・インフルエンザ・レジオネラ
	・ノロウイルス
	・流行している感染症
階層別研修	・認知症
	・介護技術
法人研修	・AED研修
	・プリセプター研修

令和3年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
レーベン横大路居宅介護支援事業所

【 令和3年度 方針 】

法人理念を念頭におき「ご利用者や職員が笑顔になれる支援」を思考し、それを実現するための人材育成、職場環境づくりに取り組んでいく。また、新型コロナウイルスや災害など、不測の事態への備えやご利用者の在宅生活がより良いものとなるよう地域住民や多職種との連携をはかる。

【 重点目標 】

1. 人材育成と職場環境づくり

- ・職員同士が意見や悩みを話し合える雰囲気づくりに努める。
- ・効率的・効果的に業務を遂行し前向きな姿勢で業務に臨めるよう配慮する。
- ・職員が積極的に専門資格取得や業務提案できるよう協力する。

2. 支援の質向上と権利擁護

- ・ご利用者の意向や権利を尊重した援助計画を策定する。
- ・専門職としての社会的役割を理解し、職業倫理をもって業務に取り組む。
- ・外部研修に積極的に参加し新たな知見を習得し部署内での共有を図る。

3. 地域貢献への取り組み

- ・地域活動に積極的に参加し、地域の一員としての意識を持つ
- ・地域包括ケア推進の一環として、地域住民や地域包括支援センター事業所等との連携を図る。
- ・地域の防災活動に参加し、関係構築と発災に備える。

4. 経営の安定と非常時の備え

- ・介護支援専門員1人あたり稼働35件を達成する。
- ・事業所加算Ⅱの算定を継続する。
- ・施設併設の利点を生かし、他部署と協力する。

5. 法令遵守

- ・改定された運営基準を正しく理解し、適正に運営する。

令和3年度事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
京都市向島地域包括支援センター

【令和3年度 方針】

法人理念を念頭に、向島地域の高齢者が共に生き、笑顔で支え合える暮らしの実現に向けた、地域包括ケアシステムの構築を推進していく。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い困難となった「顔の見える関係作り」について、職員全員で新たなアイデアを出し合い、感染対策を講じながら取り組んでいく。

同時に各関係機関との地域活動により、認知症独居高齢者支援のネットワーク構築も推進していく。

【重点目標】

1. 人材の確保、育成
 - ・年間を通して、地域包括支援センター人員配置基準を満たしていく。
 - ・地域包括支援センター業務に必要な研修に積極的に参加していく。
 - ・人事考課による面談等で、経験値に合った指導、助言を行なう。
 - ・職員間のコミュニケーションを密に図り、地域支援事業・介護予防支援が円滑に行えるようにしていく。
2. ご利用者の生活の質の向上
 - ・ご利用者の健康状態や活動、参加の状況に加え、個性も重視した情報収集を行なう。
 - ・ご利用者が住み慣れた地域で楽しみをもって生活できるよう提案していく。
3. 地域の安心の拠点となる活動
 - ・京都市から委託されている総合相談支援、権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、全戸訪問事業等の地域支援事業を遂行していく。
 - ・地域ケア会議により、高齢者個人の支援の充実やそれを支える地域社会の基盤を構築していく。
 - ・新規事業である認知症対応型通所介護と連携して、認知症高齢者が向島地域で生活でき、そのご家族も安心して介護できるよう支援していく。
4. 経営の安定
 - ・地域包括支援センター人員配置基準を満たし、委託料や介護報酬は満額請求する。